



## 今期の進捗について

会長 野坂 利也

本年7月より、役員及び委員の改選がなされ、下表のとおり、新たな委員長のもとで委員会とWGの活動を進めております。WEBサイトの会員専用ページにて、各部署の会議議事録を見ていただきますと、その動向が確認できると思えます。今回は、厚生労働省関連の案件など、会員の皆様にご理解いただきたい内容について触れさせていただきます。

### 1. 医師タスク・シフト/シェアとフットケア領域の研修会 (厚生労働省医政局医事課)

2024年から医師の時間外労働の上限規制が始まります。厚生労働省は、医師の労働を軽減させるため、医学会・職能団体との協議を重ね、医師の現行タスクを他のスタッフにシフト/シェアすることを検討してきました。

去る9月30日に厚生労働省医政局長より都道府県知事宛に「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」が通知されました。その中で、現行制度の下で医師から義肢装具士へのタスク・シフト/シェアが可能な業務として下記3点が整理され、示されました。なお、医学会から提出されたギブスカット・ギブス巻きは、本会の意見が受入れられ、最終的に外されています。

- ① 義肢装具の採型・身体へ適合のために行う糖尿病患者等の足趾の爪切等
- ② 装具を用いた足部潰瘍の免荷
- ③ 切断者への断端管理に関する指導

本通知におきまして、これらのタスクのシフト/シェアを進めるには、タスク・シフト/シェアを受ける側の医療関係職種が抱く不安を解消し、医療安全を確保する必要があり、知識・技能を習得するための教育・研修の実施の必要性が

示されています。このうち、フットケア領域の上記のタスク①と②につきましては、(一社)日本フットケア・足病医学学会に講習会の開催を依頼しており、今後、同学会と協議しながら講習内容、受講資格等を決定いたします。詳細が決まりましたら、改めてご案内いたします。

### 2. 臨床実習指導者要件の変更 (厚生労働省医政局医事課)

本年9月から義肢装具士学校養成所カリキュラム等改善検討会が2回開催されました。詳細は厚生労働省のホームページで確認できますが、臨床実習における学生指導に関する変更点があります。

現行の「義肢装具士養成所指導ガイドライン」では、臨床実習指導者の要件として、医師又は義肢装具士で5年以上の業務経験を有する者となっております。2019年に見直された「理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドライン」では、臨床実習指導者講習会(16時間以上)を受講した者が臨床実習指導者の要件となり、義肢装具士の臨床実習にも同程度の講習会受講が求められています。義肢・装具業界を取り巻く環境、養成施設のマンパワー不足等が考慮され、今後5年以内を目途に講習会を実施する体制を構築することとなります。それ以後は、講習会の受講が必須要件となりますこと、ご理解いただきまして、臨床実習指導者となられる方々は、受講されるようお願いいたします。詳細が決まりましたら、改めてご報告します。

### 3. 既製品装具リスト掲載検討WG (厚生労働省保険局)

コロナ禍の影響で停止していた会議が再開し、これまでに2回開催されました。年度内に一定の結果を出せるよう進めています。本WGの議事録は非公開ですが、1月開催予定の上位委員会の議事録は公開されますので、ご確認ください。

### 4. 生涯学習カリキュラムのe-learning提供

生涯学習委員会では、義肢装具士に必要な基本知識を学習するカリキュラムのコンテンツを、e-learningで提供することを準備しています。詳細が決まりましたら、改めてご報告します。

委員会	委員長
学術誌編集委員会	奥 謙治
義肢装具士白書編集委員会	名和 大輔
研修委員会	昆 恵介
生涯学習委員会	笹川 友彦
養成教育委員会	中川 三吉
専門義肢装具士制度準備委員会	大西 忠輔
学術大会委員会	本道 伸弘
国際委員会	榆木 祥子
広報委員会	植松 茂也
倫理委員会	村原 伸
個人情報保護委員会	中村 喜彦
総務委員会	中村 喜彦
定款会則検討委員会	大塚 博
大規模災害・地域多職種連携委員会	根岸 和諭

ワーキンググループ	委員長
専門義肢装具士制度準備委員会・フットケア足病WG	安田 義幸
専門義肢装具士制度準備委員会・車椅子シーティングWG	北川 新二
専門義肢装具士制度準備委員会・脳卒中下肢装具WG	村山 稔
専門義肢装具士制度準備委員会・大腿義足WG	東江 由起夫
義肢装具士業務の対価化検討WG	石原 栄治
義肢装具士業務指針WG	大塚 博
障がい者/パラアスリート/義肢装具士啓発WG	安部 勉
アビリンピック支援WG	芥川 雅也
組織率向上WG	徳田 和彦

# 学術大会情報：演題募集がスタートしました

## 第28回日本義肢装具士協会学術大会

大会長 植田 幸一（橋本義肢製作株式会社）



第28回日本義肢装具士協会学術大会は、来年7月9日(土)、10日(日)の2日間、岡山コンベンションセンターで開催されます。演題募集を開始しましたのご案内いたします。150字の要旨をご提出ください。一般演題のほか、英語セッション、ビギナーズセッションを実施いたします。ビギナーズセッションとは、学術大会での発表経験が浅い方に発表の経験を積んでいただき、今後につなげていただくことを目的と

しております。詳細は大会ホームページでご確認ください。また学生の発表資格につきまして、現在、理事会で検討しております。結果が出ましたら、広報してまいります。

皆さまのご応募、お待ちしております。

演題募集：11月12日(金)～2022年1月10日(月・祝)

<https://site2.convention.co.jp/japo2022/>

## 『JAPOマイページ』の初期トラブルについて

『JAPOマイページ』（以下、マイページ）は、セキュリティ強化のため2段階認証システムを採用しています。ログインには、IDとパスワードのほかに「認証番号」が必要です。「認証番号」は、登録したEメールアドレス（以下、アドレス）に送信されますので、初回ログイン後に、アドレスの入力が求められます。

会員から次の問い合わせが来ておりますので、該当される方は、下記の対応をお願いいたします。

### 1) ログインできない

パスワードに、アルファベットの小文字のエル[ l ]と、数字の[ 1 ]があります。両者の文字が似通っていますので、入力時の取り違えにご留意ください。

### 2) 認証番号の通知メールが届かない

認証番号は、アドレスに通知されますが、ご契約されているインターネットサービス、携帯会社によっては、メールサーバーで迷惑メールと自動判断されてしまう場合がございます。

ます。その場合、迷惑メールのフォルダに振り分けられて受信されているか、あるいはメール自体がブロックされて受信されません。前者の場合は、迷惑メール・フォルダに届いていますのでご確認ください。後者の場合は、ご利用のメールサービスにお問い合わせいただきまして、マイページシステムのメールアドレスやドメインからのメールが、迷惑メールにならないような設定をお願いいたします。

メールアドレス： system@japo-mypage.jp

ドメイン： japo-mypage.jp

マイページは、本会に登録されているご自身の個人情報の閲覧や情報の更新が可能なシステムです。会員への連絡は、マイページの情報をもとに行いますので、引越や勤務先の変更があった際には、速やかに修正をお願いいたします。特に今後は、ご登録いただきましたアドレスを活用して、通知や情報発信を行いますので、マイページのログインに、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## 国際支援活動助成制度

「国際支援活動助成制度」は、本会の公益目的事業の一つで、国外の自然災害や紛争によって障害を負った人々や、途上国の障がい者を支援する日本の義肢装具士の活動を助成する制度です。審査を経て、原則として1事業年度あたり、上限50万円を助成します。毎年5/1～8/31で募集しています。詳細は、WEBサイト「各種申請書ダウンロード」でご確認ください。

<https://japo.jp/download.html>

### 会員数（2021.10.31現在）

正会員： 2,316名	賛助会員： 36名
購読会員： 70名	学生会員： 699名

## 義肢装具士の求人情報

本会WEBサイトの『会員専用ページ』には、義肢装具士の求人情報を掲載しています。賛助会員企業に加え、その他の企業の求人情報を掲載しています。再就職を目指す義肢装具士の方々にご利用いただきたいと思っております。

義肢装具やシーティングの事業所を中心に、続々と広告が増えていますので、是非ご確認ください。

### 編集後記

今号は、会長より、本会の活動進捗、特に厚労省関連の事案や新たな会員サービスについてのご案内がありました。本会の活動は皆様の会費で成り立っています。引き続き、積極的な参加とご協力をお願いいたします。（大塚）

日本義肢装具士協会 会報誌 『JAPO通信』第6号

2021年12月1日発行

発行元：公益社団法人 日本義肢装具士協会

編集スタッフ： 広報委員会/協会事務局

委員長： 植松 茂也 委員： 峯松 亜由美

担当理事： 大塚 博 事務局長： 黒澤 仁一